



独楽会



オープンキャンパス2012

- 6/24 (日) 13:00~16:00
- 7/21 (土) 11:00~15:00
- 8/11 (土) 11:00~15:00
- 8/25 (土) 11:00~15:00
- 9/9 (日) 13:00~16:00
- 10/21 (日) 11:00~15:00

ミニ講義、キャンパスツアー、相談コーナー、学食体験など
魅力的な内容をご用意しておりますので、ぜひご参加ください。

詳細は姫路獨協大学HP

(<http://www.himeji-du.ac.jp/>)をご覧ください。

2012年 志湧祭

- 10/20 (土)
- 21 (日) 同窓会総会・ホームカミングデー同時開催



「同窓生のみなさん、母校へお帰りなさい！」 10月21日、初のホームカミングデーを開催します

同窓会では、かねてよりホームカミングデーの実現に向けて議論を続けて参りましたが、この度、大学に対してホームカミングデー開催の提案を行ったところ、大学内における協議の結果、大学創立25周年記念事業の一環として開催することが決定しました。開催日は10月21日(学園祭・同窓会総会と同時開催)の予定です。詳細については後日、決定次第ホームページ等でお知らせします。たくさんのご参加をお待ちしています。

同窓会(獨楽会)総会と懇親会のご案内

第16回同窓会総会を志勇祭の日程に合わせて、10月21日(日)に開催いたします。総会終了後には、恒例の懇親会も予定しておりますので、まだご参加されたことのない方も是非ご来場ください。出欠のお返事は同封のハガキまたはEメール(honbu@hdud.gr.jp)、FAX(079-223-9263)にて、10月5日(金)までに事務局へお寄せください。

- 日時 平成24年10月21日(日)
 - ・総会/10時～
 - ・懇親会/11時～
- 議題 第15期事業報告および決算
第16期事業計画および予算 他
- 参加費 無料
- 会場 姫路獨協大学 本部棟西館 5階 第1会議室
(正面玄関向かって左の建物)



ごあいさつ 同窓会 会長 武本 錠治(ドイツ語学科/平成3年卒)

同窓生各位におかれましては様々な方面にてご活躍のこととお喜び申し上げます。今年度も引き続き会長職を担当させていただいております。よろしくお願い致します。

今、母校では様々な環境の変化に対応しつつ改革を進めておりますが、まだまだ進捗が遅いのが現状です。いずれにしても、学園全体を通して抜本的な経営改革を早急に進めなければ

のステージには到達できないどころか、存続さえ危ぶまれてきます。

同窓会としましてはホームカミングデーのイベントを企画いたしておりますので、各学部・学科、あるいは校友会の同窓生の皆様、いろいろとお忙しい年齢になられていますが、ここで大学のために一汗かいていただきたくご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校にかかわるすべての人たちに幸多からんことを心からお祈り申し上げます。

震災復興支援のTシャツ・プロジェクトを展開中

昨年3月11日の東日本大震災から、早くも一年以上が経過しました。しかし、震災の爪あととはあまりに甚大で、復興は道半ばの状態にあります。そのようななか、17年前に、阪神淡路大震災を体験した兵庫県にある大学として、何かできることはないかと考えた学生と教職員有志によって、「震災復興支援Tシャツプロジェクト」がスタートしました。

Tシャツのデザインを担当したのは、経済情報学部4年次生の水井将人くん。「日本が今、『つながって支えあえる。』という願いを込めて、日本全国から被災地へとアーチをかけるデザインとしました。

200枚限定で、昨年12月より学内の山陽百貨店(売店)において販売を開始したところ、多くの方々から、プロジェクトの趣旨に暖かいご賛同を頂き、順調に売り上げを伸ばすことができました。

このたび、より多くの方々に、このTシャツを手にとっていただけるよう、本学同窓会を取次代理とした通信販売を開始致しました。色は、ブルーとピンクの2色、サイズはSとM、いずれも1枚1,500円(送料込)。売上1枚あたり600円が、「あしなが基金(震災孤児支援)」に寄付されます。多くの皆様に、ご協力を頂ければ幸いです。

通信販売の詳細は、同窓会ホームページ(<http://www.hdud.gr.jp/>)をご参照ください。



Teacher's Voice

新鮮な刺激を与えてくれる
卒業生との交わりに感謝

高橋 健 法学部教授

卒業生の方から頂く年賀状に新しい御家族と共に写真におさまっているお姿を拝見し、頼もしくまた嬉しく思います。「子守を御願います」と書かれていたりもします。想えば卒業生や在校生に「還暦」を祝ってもらって早3年。そんな年齢になったことをつくづく実感しています。姫獨大での生活も24年目を迎えます。その間、一般教育部、外国語学部そして現在法学部に所属しています。

ドイツの哲学者カントは「私の前半生は黒板を前に、後半生は黒板を背に」と言っていますが、私は姫獨大の教員として様々な経験が出来たことに感謝しています。卒業生の方々がそれぞれの職場に於いて大いに活躍されているおかげで、様々な企業の様々なポジションの方々とお会いし、

お話しする機会も多く、「学校」という世界だけで生きてきた私に常に大きく新鮮な刺激を与えてくれます。またこんな事もありました。野球部長という立場からOBの結婚式でスピーチする事が多いのですが、私に娘のいないことを知っていた外国語学部OGから結婚披露宴の新婦エスコート役を仰せつかり「花嫁の父」の気分も体験させて頂きました。

ところで、私は甲南大の学生時代はカント哲学を学びました。ドイツ語原文を読みながら翻訳に救いを求めましたが、その翻訳が獨協大学初代学長天野貞祐先生の手によるものでした。天野先生は旧制甲南高校校長も務められており、姫獨大に着任したとき何か不思議な縁を感じました。しかも数年前、関東遠征に同行した際、獨協大「天野貞祐記念球場」で先生が「日本学生野球協会」会長を務められ、その御尽力が高く評価され「野球殿堂」入りを果たされている事を初めて知りました。天野先生の教えと伝統をしっかり受け止めて微力ながらもあともう少し野球部長を続けたいと思っています。

今後とも卒業生の方々や人と人の交わりを持ち、お互いに大いに意義ある経験を積み重ねていきたいと思っています。皆様の御健康と御多幸を祈りつつ。

